

# 佐倉市民オンブズマン情報

## 佐倉市民オンブズマンは 1名が県政 3名が市政 合計4名で、 県政・市政に 協力して 取組めます。

### 県政・市政への基本的取組み姿勢

佐倉市民オンブズマンは、活動を開始し15年になり、新庁舎建設250億円凍結、「白銀小学校負担金の情報開示で、小学校建設へ道を開く」、「入札制度の改革」、「佐倉市と千葉県」の官官接待裁判で勝訴等を行ってきました。

最近では、佐倉市職員給与の是正を求め、H16年度以降調整手当は、約8ポイント削減される。入札制度の適正化を求め、落札率がH17年度建設工事73%（予定価格より3億円減）、H21年度同78%（同5億円減）となる。

H22年度に議員報酬削減（年間約1千万円）、議員定数削減（年間約1600万円）条例を実現し、4年間で1億円超の減額。H21、22年度にゴミ処理有料化（年額1〜2億円）を阻止。H20年、各種講演会を開催し、社会の問題点を掘り下げる等に取組みました。さて、前号でお知らせした如く、次期は総勢4名（男性2名、女性2名）で県政、市政に協力して取組めます。

現在、佐倉市議は2名ですがこれを3名にし、議案提出権議員の12分の1を獲得し、積極的に議案を提出してゆきます。また、県政に1名が地元密着で取組み、県議と市議が協力し県政と市政に取組む考えです。

千葉県は福祉、保健医療、警察、教育、道路など幅広い行政を担当し、市民生活に密着に關係しています。しかし、不正経理、天下り、赤字外郭団体など多くの問題を抱えています。県政と市政に総合的に取組み、皆様からの調査要望、苦情の受付にも強力に取り組んでゆきます。

今後、情報公開を進め、税金の不正支出、無駄遣いを無くし、「職員、特別職給与等の適正化」、「福祉の充実」、「人権尊重」、「環境保全」、「市民が主権者の佐倉」の姿勢で、地元に着目して積極的に取り組んでゆきます。

H22年度に議員報酬削減（年間約1千万円）、議員定数削減（年間約1600万円）条例を実現し、4年間で1億円超の減額。H21、22年度にゴミ処理有料化（年額1〜2億円）を阻止。H20年、各種講演会を開催し、社会の問題点を掘り下げる等に取組みました。さて、前号でお知らせした如く、次期は総勢4名（男性2名、女性2名）で県政、市政に協力して取組めます。

次の行為は公職選挙法違反です  
タスキに名前を書いて告示前に運動することは違反です。  
名前を書いたノボリ旗を、個人や後援会で掲示するのは違反です。公職を目指す人の公職選挙法違反は深刻な問題です。違反には市民の厳しい目が必要。選管も厳しく指摘する必要があります。

## 次期・市議2期目へ

上ノ山 博夫(かみのやま ひろお)  
市議2期目に向けて引き続き取組めます。  
(重点地域) 佐倉地区、臼井南部地区、千代田地区、藤治台・春路地区、和田弥富地区



をなくし、住みよい「市民主権」の佐倉市を目指します。市民の皆さまのご期待にこたえるべく会派「佐倉市民オンブズマン」としてこれからも市政に全力で取り組んでいきます。

### 1. 上ノ山 博夫 の略歴

佐倉市宮前1丁目在住  
政党に無所属 職業 佐倉市議会議員(会派佐倉市民オンブズマン)  
連絡先 (携帯) 090-1409-5387  
FAX 043-485-3997  
新潟県生れ、新潟明訓高校、日大芸術学部映画学科卒業後ラジオ・テレビ番組の制作、レコード会社にてアーティストの育成、宣伝等に携わる。佐倉市民オンブズマンには創立から参加し、現在市議会議員1期目。

### 2. 上ノ山博夫のめざすもの

情報公開を進め、税金の無駄遣い

税金の無駄遣いはさせません。  
・市長、議員等特別職、一般職員の給与・報酬の適正化を目指します。  
・無駄な補助金の支出はSTOP!  
情報公開をさらに進めます。  
行政の情報は市民のもの。隠すのではなく、積極的な公開を進めます。  
・税金の支出、外郭団体等の情報、意思決定過程等の公開を進めます。  
・少子高齢化問題に取り組めます。  
子ども達やお年寄りが安全に楽しく暮らせる町を実現させます。

## 次期・千葉県議会へ

藤崎 良次(ふじさき りょうじ)  
千葉県政に向けて取組めます。  
(重点地域) 佐倉市全域



(率では8ポイント削減)。  
入札改革で、H21年度建設工事落札率78%（予定価格より5億円減）となる。  
H22年度に議員報酬の削減、議員定数削減条例制定を実現し、4年で1億円超削減。各種講演会を開催。

### 1. 藤崎 良次 の略歴

佐倉市山崎(宮前3町内)在住  
政党に無所属 職業 佐倉市議会議員  
連絡先 電話&FAX 043-485-5999  
千葉工業高校、千葉工業大学、放送大学(社会と経済)卒業  
放送大学修士課程(経営政策)修了  
佐倉市議会議員3期目(会派:佐倉市民オンブズマン)

### 2. 藤崎良次の主な活動実績

これまで、「新庁舎建設(250億円)凍結」、「白銀小学校負担金の情報を開示させ、小学校建設へ道を開く」、「佐倉市と千葉県の官官接待裁判で勝訴」など  
最近では、  
H16年度に比し、職員調整手当(地域手当)等年額約4億円超の削減

3. 藤崎良次のめざすもの  
税金の不正支出、無駄遣いを無くし、福祉、教育などを充実させます。  
税金の不正支出を許しません。  
税金の無駄遣いを止めさせます。  
外郭団体のチェックを行います。  
苦情受付、調査を強化します。  
迅速な情報公開を進めます。  
市議会議員と協力し、地元密着で活動します。

## 新人・佐倉市議会へ

奈良 ふき子(なら ふき(扶規)こ)  
(重点地域) 志津南地区、西志津、中志津、南ユーカーが丘、井野地区



倉市民オンブズマンの市民のための活動と理念に感激し参加。2010年4月より幹事。

### 1. 奈良 扶規子の略歴

政党に無所属 佐倉市民オンブズマン  
幹事 佐倉市中志津3丁目在住  
家族 夫と子供3人(10才・5才・1才)  
電話&Fax 043-489-8142  
E-mail narafukiko@sakura-city.jp

愛媛県生れ。今治北高校、立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業。  
会社員、英会話スクール経営、今治ベンチャークラブ(ボランティア団体)会長、京都府の臓器移植コーディネーター、佐倉市市政モニター、小学校PTA役員、佐倉市子育て推進委員会委員、佐倉市自治基本条例策定通信委員等を努める。

臓器移植の仕事では、臓器を関東から京都に運んだり、東奔西走し、移植を受けた方の快復をみて感激し、臓器提供者に感謝の気持ちで一杯になりました。また、テレビ番組で「姉さん女房」(親が結婚に反対、夫が学生だった等ユニークなカップル)として紹介される。2008年6月に、佐

### 2. 奈良 ふき子の市民活動

高額と指摘されたままの「佐倉市議の報酬」引下げを求める陳情書を提出、8月議会で採択され11月議会で月2万円削減が決定。  
臓器移植ネットワークより講師を招き、「臓器移植」についての講演会を開催。  
自治基本条例の通信委員として活動。  
不十分な内容での性急な制定に反対し、検討懇談会解散後に署名活動等を行う。その結果、同条例は議会で否決された。

### 3. 奈良 ふき子の決意

この2年半、育児や出産をしながら市民活動を行い、「市民の力こそが市政を変えていく」ことを確信しました。これからも、常に公正な立場で物事を判断・決断し、言うべきことは躊躇せず主張します。佐倉市民オンブズマンの市議会議員として、佐倉市民のことを考えて活動します。

## 新人・佐倉市議会へ

和田 恵子(わだ けいこ)  
(重点地域) 大崎台、山王、六崎地区、臼井北部地区、ユーカーが丘・宮ノ台地区(ユーカーが丘駅北側)



専用車 無駄遣いだ、朝日新聞に投稿。その後、議長車購入は無駄遣いの認識が広まり、議会で否決されました。  
市長給与引き下げの陳情提出

### 1. 和田 恵子の略歴

佐倉市大崎台在住  
政党に無所属 職業 主婦  
電話 043-486-9398

船橋市生れ。都立小松川高校卒業、立教大学文学部心理学科卒業。  
20年前に佐倉市に転入。消費者モニター、環境モニター、湧水調査ボランティア、佐倉中及び根郷中PTA役員、廃棄物減量等推進審議会委員などを務める。  
「環境問題を考える佐倉の会」代表。

### 2. 和田 恵子の活動実績

「家庭ゴミ処理有料化」に合理的根拠無しと、有料化をやめさせました。近隣市のゴミの出し方を調査比較し、ゴミ袋の種類が多い、燃えないゴミの袋が無い等の市ゴミ行政の問題点を指摘しています。  
H21.8月議会にて「議長車買い替え(692万円)の予算」に対し、「高額な議長

3. 和田 恵子の主張  
市民目線でゴミ行政を改革  
佐倉市のゴミ袋の種類は多すぎます。他市のゴミの出し方を調査してみると、指定袋の数は「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」のせいぜい2種類です。  
他市では、資源物のびんやカンが繰り返し使うパレット(かご)や専用袋。紙容器やプラ容器は同材質の不要袋を利用となっているところがほとんどです。  
ゴミ減量と省資源のために市民がレジ袋使用を抑制しても、ゴミ袋を何種類も買わせる佐倉市の方式は、環境に配慮したゴミ行政とは言えません。

私は、ゴミ袋の種類を削減することに取り組めます。

情報公開を進める！ 佐倉市民オンブズマン 佐倉市民オンブズマンのサポーターと調査スタッフを募集中です。各分野の経験者大歓迎！ 皆様からの「相談も気軽に電話等いつでもどうぞ。」